

まちの話題

大学・神崎市をPR

2月5日、西九州大学でNHK佐賀放送局「ここはふるさと旅するラジオ」の生中継が行われ、大学や神崎市を全国にPRしました。

学生たちは、自身の経験をまじえて、将来の夢を語っていました。また、市からは、下村湖人生家、4月19日に行われる九年庵のおふるまいウォーキングをPRしました。

西九州大学と神崎市は、平成20年5月に「食育に関する協定」を締結し、若い世代に食の大切さや食文化を伝える機会の提供や地元農産加工物を促進する取り組みを協働して行なっています。

湖人生家で文化財防御訓練

1月26日の「文化財防御デー」を前に、25日、千代田町崎村にある市の重要文化財・下村湖人生家で、文化財防御訓練が、消防署、消防団、地元住民などの協力により行われました。

訓練は、湖人生家北側雑木林から出火、湖人生家に延焼の恐れありとの想定で119番通報。地元住民の消火栓による初期消火、地元第5分団のポンプ中継による連携消火、一斉放水など小雪の舞う寒い中でしたが、きびきびした動作で行われました。



「文化財防御デー」は、昭和24年1月26日に世界最古の木造建造物である法隆寺金堂壁画が火災によって消失したことを契機に、文化財防火運動の一環として制定されています。

お漬物できたよ!



1月23日、仁比山保育園でふるさと先生（菜の花ネット真島会長ら）の指導により、年長児（24人）が漬物作りを体験しました。

使用した野菜は、園の畑で園児自らが作付けした白菜と大根で、「おいしくなれ」と唱えながら丁寧に漬け込んでいました。

この活動は、さが「食と農」絆づくりプロジェクトで取り組まれており、作付けから加工、食事まで一連の活動を通し、食事の大切さ・楽しさを体験しました。

節分の豆まき

2月3日、日本の伝統や風習を通じて感性を養ってもらうと、保育園・幼稚園で節分の豆まきが行われました。

当日は、あいにくの雨で、屋内での実施となりましたが、園児の元気な声が園外まで響いていました。

西郷保育園では、園児が二日間かけて作った迫力ある鬼の面に泣き出す子もいましたが、「いじわる鬼」「魚嫌い鬼」「泣きべそ鬼」「怒りんぼ鬼」などの鬼に、豆や飴を投げ、鬼を追い



はられました。豆まきのあと、紙芝居を見て節分の由来を学びました。

日ごろの成果を発表

2月4日から6日にかけて、神崎市老人クラブ連合会神崎支部の会員による恒例の「趣味の作品展」が神崎市中央公民館で行われました。

今回の作品展では、約120人の油絵や水墨画、手芸や陶芸、写真など約400点の作品が展示され、来場者の目を引く個性あふれる素晴らしい作品が並んでいました。



また、5日には、囲碁・将棋大会も行われ、囲碁大会には、21人、将棋大会には、12人が参加。大会は、各組ごとのリーグ戦により行われ、真剣な表情で熱戦が繰り広げられていました。

白銀の世界を疾走!

1月25日、第15回吉野ヶ里口・ドレース in 神崎市(神崎市体育協会・佐賀新聞社主催)が吉野ヶ里歴史公園で行われました。



(敬称略)

部 門	1 位	2 位	3 位
4km 男子 (市内)	中島 祐希 (千代田中陸上部)	島 竜介 (千代田中軟式野球部)	中野 亮太 (千代田中陸上部)
4km 男子 (市内外含)	佐藤 純希 (鳥栖工業高校)	野口 貴史 (鳥栖工業高校)	溝田 慎悟 (鳥栖工業高校)
4km 女子 (市内)	小宮 光 (神埼清明高校)	古賀 夕貴 (千代田西部J.V.バレーボールクラブ)	石井 文香 (神埼中陸上部)
4km 女子 (市内外含)	羽根田 実幸 (春日東中陸上部)	松井 ひろ子 (成章中陸上部)	小宮 光 (神埼清明高校)
10km 男子 (市内)	小川 拓紀 (神埼清明高校)	渋谷 皇平 (神埼清明高校)	野口 賢一 (トヨタ紡織九州)
10km 男子 (市内外含)	平 敏治 (神埼マラソンクラブ)	福田 憲互 (西九福祉会)	永淵 和行 (佐賀広域消防局)
10km 女子 (市内外含)	松尾 千春 (九電工)	竹村 理紗 (九電工)	池部 喜代子 (大宰府ロータリークラブ)
4km 男子 中学生団体の部	弘学館中学校	成章中学校陸上部	大和中学校陸上部
4km 女子 中学生団体の部	成章中学校陸上部	神崎中学校陸上部	北茂安中学校 女子バスケット部
遠来賞	西谷 浩太郎、木許 慎一郎、若林 康介		大阪市住吉区
最高齢者賞(市内)	音成 市次		77歳(神埼町)
最高齢者賞(市外)	石橋 正二		86歳(久留米市)

市内外から1,144人が参加し、前日から降り積もった雪景色の中、1位を目指して懸命に走る人や、ジョギングを楽しむ人など、白銀に包まれた弥生時代の風景を感じながら走る姿に、コースの外からは、多くの

声援が飛び交っていました。今大会は、特別ゲストに土佐礼子さん(北京オリンピック女子マラソン日本代表)を迎え、大会を盛り上げていただきました。各種目の結果、特別賞を受賞されたのは、次のとおりです。

市民団体の活動展示



市民団体の活動記録などを集めた展示会が、2月2日から8日にかけて、神幸館で行われました。

初めて企画された展示会には、約30団体が参加。歴史、環境、医療、町おこし、朗読など日ごろの活動について、写真やポスター、パンフレットなどで紹介されていました。

神幸館は、志が同じグループ同士の連携と活力ある地域づくりを目指すCSO(市民社会組織)の支援拠点として、神崎町三丁目公民館の1階にあります。

子どもたちの餅つき体験

1月31日、下村湖人生家広場で「Youthちよだ 次郎餅つき会」が行われ、子ども、保護者、会のメンバーなど約50人が、昔ながらのもちつきを楽しみました。

臼でついた餅を初めて見て喜ぶ子どもや、ついた餅を楽しそうに丸めている子どもたちの姿がありました。つきたての餅は、ぜんざいなどにして振る舞われ、参加者たちは、おいしそうにほおばっていました。



したり、臼や杵で餅をついたりすることは、子どもたちに大変良い体験になるので、ずっと続けてください」という声が聞かれました。

中学生の主張



2月6日、第28回鳥栖・三神地区中学生主張大会が神崎市中央公民館で行われ、地区内の各中学校（16校）から学校の代表者が発表しました。

参加者は、自身の考えを変えた出来事や自ら経験したことを踏まえ、主張を展開していました。

アトラクションでは、各種のコンクールにおいて優秀な成績を修めている神崎小学校金管バンドの演奏が行われました。

この大会は、中学生が自ら夢や希望、目標を主張発表することにより、青少年の健全な育成を図ろうと、鳥栖・三神地区のライオンズクラブ6クラブにより、毎年開かれており、今回は神崎ライオンズクラブにより行われました。

社会の一員になる自覚を

2月4日、神崎中学校の立志式が神崎中央公園体育館で行われ、2年生171人の代表5人が将来の夢を発表しました。

これは、昔の成人式にあたる元服を迎える中学2年の時期に、「大いなる志を抱き、自分で自分の道を切り開いていく強い気持ちをもつ」ことを目的として行っているものです。

生徒たちは、夢を叶えるために必要なこと、現在の課題、将来の展望など、しっかりとした意見を



持って発表していました。また、同日、千代田中学校で、13日には、脊振中学校で立志式が行われました。

書道で金賞を受賞

第23回障害者による書道・写真全国コンテスト（財）日本障害者リハビリテーション協会主催）の書道部門において、田原タミ子さん（千代田町）が、全国からたくさん作品が寄せられた中から、みごと最高の金賞を受賞されました。



今後とも、障害者の文化・芸術活動の促進と技術の向上に活躍されますことを期待しています。

佐賀農業賞で優秀賞

1月30日、佐賀市グランデはがくで、平成20年度佐賀農業賞表彰式が行われ、「先進的農業経営者の部」で大江安夫さん（千代田町）、「若い農業経営者の部」で真崎誠哉さん（神崎町）が、優秀賞を受賞されました。

大江さん（写真右）は、生産履歴や肥料等に配慮した安全・安心なアスパラ作りへの積極的な取り組みについて、真崎さん（写真左）は、高品質生産や消費者への積極的なPRが評価され、今回の受賞となりました。



西郷小

見守り隊に感謝状

1月26日、「佐賀県安全フォーラム」が開催され、その中で、日頃の防犯活動が認められ、「西郷小学校見守り隊」に県知事から感謝状が贈呈されました。



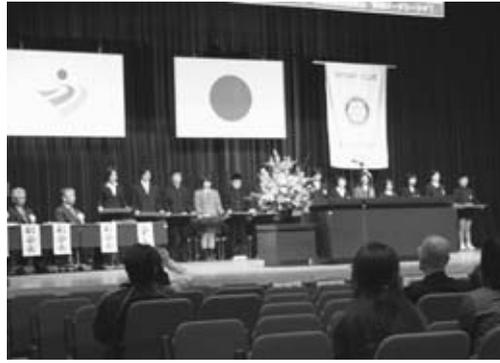
見守り隊のメンバーは、毎朝の交通指導はもちろん、あいさつや声かけもされており、多くの見守りや触れ合いの中で、子どもたちは育っています。

「見守り隊」の影響で平成19年度からは、PTAも立ち上がりました。自分たちの子どもは自分たちで守るという意識が高まり、全保護者に「子ども安全パトロール」のステッカーを配布し車への掲示が実施されています。

地域の安全を守る大きなつながりが、今、西郷校区を包み始めています。

心を打たれた子どもたちの発表

—第3回青少年主張大会—



○応募者数

応募者数は、1,791人で、市内の各小学校の5、6年生、各中学校の1、2年生、神崎高校、神崎清明高校の1、2年生、西九州大学生、新成人者から応募がありました。

テーマは、あいさつ、私の夢、戦争と平和、環境問題、いじめ、ボランティア活動など多種多様で、現代社会の問題に目を向けて深く考え、自分なりの意見を強く訴えると共に、前向きに積極的に取り組む姿勢が頼もしい、しっかりとした内容の主張が多く寄せられました。

○司会・進行

今回の司会は、神崎高校1年の大島奏さん。さすがに放送部員だけあって、美しく歯切れのいい声で名司会ぶりを発揮し、主張大会を盛り上げるために臨機応変の対応をしながら、スムーズに進行してくれました。

この大会は、神崎地区の保護司会、婦人連絡協議会、少年補導員連絡協議会、市の区長会、自治公民館連絡協議会、PTA連絡協議会の後援をはじめ、地区役員の方々、市民の皆さまのご協力をいただき、また、児童生徒を含めて500人を越える方々に足を運んでいただき、大会の主張大会となりました。

○青少年の主張

主張者は、市内の小・中学校、高校、大学、新成人者の代表の14人で、それぞれに熱く力強い主張をしました。児童・生徒たちの心を込めた堂々とした発表に、参観者からは、賞賛の言葉があちこちから聞かれ、大好評でした。発表者は、次のとおりです。

○特別出演

今回は、今年度の佐賀県中学校英語暗唱大会で知事賞を受賞した脊振中学校2年の神代瑞木さんの英語暗唱と神崎中学校吹奏楽部の演奏でした。神代さんの英語暗唱は、すばらしく流暢で、また、神崎中学校吹奏楽部の美しく力強い演奏に、会場は、しばし快い幸せな雰囲気になりました。

青少年主張大会発表者

(敬称略)

主張題目	学校名	学年	氏名
自分たちの手でつくる平和	脊振小学校	6年	宮地 雅人
夢のオリンピック	神崎小学校	6年	副島 春香
いじめについて考えよう	西郷小学校	6年	八谷 希美
地球の温度をもとにもどそう	仁比山小学校	5年	堤 愛恵
私がかねえてみたい夢	千代田東部小学校	6年	内川奈緒子
UD調査に行つて気付いたこと	千代田中部小学校	6年	重松明日香
感動的な体育大会	千代田西部小学校	6年	光武 頼子
「命」輝かせて	脊振中学校	2年	畑瀬 歩
これからの僕の道	神崎中学校	2年	野中 勇希
“普通”という最上級の幸せ	千代田中学校	1年	貞包 幹矢
「私の夢」	神崎清明高校	1年	光崎 加奈
「いじめについて」	神崎高校	1年	山口 貴士
学生生活での社会活動	西九州大学	4年	山口 千貴
私の決意	新成人	代表	大石 愛美

有料広告

有料広告

なぜ今 下水道？

私たち人間は、今まで環境を破壊しつづけてきました。その一つが生活廃水のたれ流しです。破壊した環境をとり戻すのも私達人間一人ひとりの責任です。それが下水道接続です。

安心・安全な価格と工事

神崎市・佐賀市・小城市・上峰町・吉野ヶ里町 下水道工事指定店
給水工事・電気工事・ガス工事・浄化槽工事・住宅リフォーム

梅崎設備

神崎市神崎町志波屋628-1 ☎0952-53-0392 FAX0952-20-2453